

件名: 第1回 安倍川総合土砂管理計画フォローアップ委員会・作業部会

日時: 平成26年12月10日(水) 15:30~17:30

場所: サンパレスホテル 2階スターパレス

議 事 要 旨

(1) 設立趣旨(案)、規約(案)について、了承された。

(2) フォローアップ委員会・作業部会における委員からの助言

■総合土砂管理計画について

- 個々の土砂管理対策も重要であるが、総合土砂管理としてはまず砂防から河川・海岸までを対象とした大きな視点での議論が必要である。
- 河川整備計画のために議論をするのではなく、あくまで、総合土砂管理に関して本委員会で議論し、その中で河川整備計画に関係する事項は、反映させるという立場である。
- 策定した総合土砂管理計画の計画に基づき、しっかりと実行することが重要である。また実態把握のために足りない項目があれば追加で調査していくことが重要である。

■土砂移動シミュレーション精度向上について

- 今後土砂収支をどのようにチェックしていくかが重要であり、それに結びつくモニタリングをして、全体としてチェックしていくことが重要である。
- 上流域のシミュレーションは敏感であり変更が大きいことを認識する必要がある。その意味でもモニタリング箇所が少ない。
- 土砂収支の入口(上流端)と出口(海岸)を把握することは非常に難しい。まずは、モデルに注力するより、出口である海岸部分のモニタリングをしっかりと実施したほうがよい。
- まずは短期の再現性を確保することが重要である。短期の再現性があれば、結局は短期の積み重ねなので長期的にも再現性は確保できる。

(3) 事務局提案のシミュレーションモデル精度向上の提案(支川溪流の河床材料調査の実施、流量把握、土砂生産領域の粒度分布調査)、河岸防護施設配置計画(案)について、了承された。